

民具の活用について

民具の保存、活用および市内3資料館の運営状況は適切か？



秋永 安次 議員

答

文化財保護審議会にて指導、助言を頂き運営しています。

問

民具の保存、活用はどのようにおこなわれているか。

答 教育総務部長

民具は市内3つの資料館と2カ所の収蔵庫に保存しています。その中で、生活文化や先人の知恵を伝える貴重な資料につきましては、3つの資料館で展示をしています。

問

旧今津東体育館に保管されていた民具について、保管や展示はどのようにされているか。

答 教育総務部長

一部を市内小学校へ学習資料として提供するなど工夫したうえで、安曇川町南古賀の収蔵庫へ移転いたしました。収蔵庫では、閲覧対応、展示等ができませんので、展示や貸し出しが必要となった場合は、その都度移動しているという状況です。

問

教育現場ではどのように活用がされているか。

答 教育総務部長

小学校では3年生の社会科で「昔の道具とくらし」について学ぶ機会があり、資料館に展示されている民具を見学したり、教室で実際に民具に触れながら昔の生活の知恵を学んだりするなど、工夫をしながら活用を進めているところです。

問

市内3資料館の運営状況および課題について。

答 教育総務部長

平成28年度からは、マキノ資料館および朽木資料館を予約時、または春と秋の企画展開催時のみの開館としています。高島市公共施設再編計画では、3つの資料館の機能移転による集約化を検討することとなっています。

問

市内3つの資料館と2ヶ所の収蔵庫の収納点数は何点あるか。

答 教育総務部長

民具資料はマキノ資料館、朽木資料館、高島歴史民俗資料館、および南古賀収蔵庫、下小川収蔵庫に8800点を収蔵しています。

問

文化財保護審議会において3資料館の扱いについて統合するという審議はされているか。

答 教育総務部長

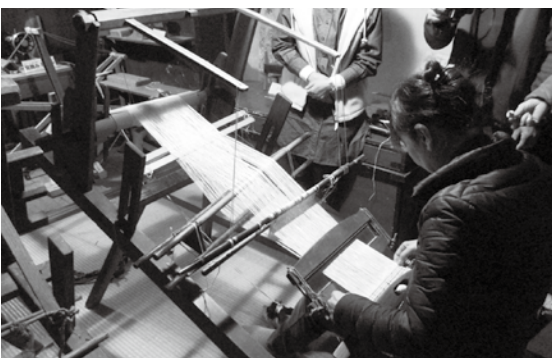
集約化について審議をして頂いています。

その他の質問

●道徳の教科化について



民具の見学



民具を使用した伝統的な織物技術の復活事業